



ぼく、わたしって変なの？

ホモ おかま レズ という言葉に傷ついている人たちがいます。

同性愛は性愛や恋愛の対象が同性であるだけなので、外見からはわかりません。本人も周りとは違う自分に違和感を持ちながらも、いじめや差別の対象になる不安から、誰にも相談できずにいます。

皆さんの目の前に・・・人知れず、誰にも相談できずに困っている子どもがいます。

『同性を好きになるなんて、変なのかな・・・？』

『自分らしく 生きていきたいのに、どうすればいいの？』

『授業で「同性愛」について取り上げられた時、先生も笑っている感じがしてイヤだった』

『だれかに相談したいけれど、でも拒否されたり、否定されたり、受け入れてもらえなかったらどうしよう』

『先生に勇気を出して相談したけれど「いずれ治るよ」と言われた。本当にそうなの？』

性同一性障害は治療の対象ですが、同性愛者は病気ではありません。

正しい知識をもって、子どもたち一人ひとりが自分らしく生きられる社会であって欲しい。私たちの願いです。

2008
Presence

L
etter

Letter 1

 **SHIP**
Kanagawa Rainbow Center

好きな人といっしょに手をつないで歩ける街。そんなささやかな「幸せ」。

かながわボランティア活動推進基金21
協働事業負担金事業



同性愛者 の現状

人口の3～5%

一般的に同性愛者や性同一性障害などセクシュアルマイノリティ（性的少数者）は人口の3～5%とされていますので、学校ならば1学級に1～2人がいると見られます。

同性愛者は性愛や恋愛の対象が同性であるだけで、外見ではわかりません。

一般社会の同性愛者の扱い

かつて医学界において同性愛者は異常性欲、性的倒錯といった考え方がされていた時代がありましたが、1992年にWHOが「同性愛者はいかなる意味においても治療の対象ではない」という見解を発表し、国内では厚生省が1994年に公式基準として採用しています。（国際疾病分類改訂版 ICD-10）

しかしながら、テレビのバラエティ番組やマスコミで扱われる同性愛者の姿は、ほとんどが嘲笑の対象あるいは変態といった異質なものとして扱われることが多くあります。このことは同性愛者当事者にとっては、自分が笑いの対象となっているのと同じに感じてしまい、自分のセクシュアリティを周囲に明かすことができず心理的ストレスになっています。

15%が自殺未遂の経験

過去の調査で「ホモ・おかま」といった言葉のいじめの被害があるゲイ・バイセクシュアル男性は59.6%に上り、これまでに自殺を考えたことがある割合は66%、実際に自殺未遂をした割合は15.1%もあることがわかってあります。

（厚生労働省エイズ対策研究推進事業「ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート2」より）

HIV感染者の増加

一般社会の偏見や差別が自尊感情の低下につながっており、このことが男性同性間でのHIV感染者の増加の要因ともされています。2007年のHIV・AIDS報告数は過去最高の1500人で、そのうちの60%が男性同性間によるものでした。

（厚生労働省 エイズ動向委員会 2007年より）



SHIP とは？

セクシュアルマイノリティ（同性愛者・性同一性障害）のためのコミュニティスペースです。同じ悩みを持つ立場から一人ひとりにきめ細かな支援を行うとともに、行政や教育機関等にも開かれたセンターとすることで、一般社会へセクシュアルマイノリティの理解を進めることを目指しています。

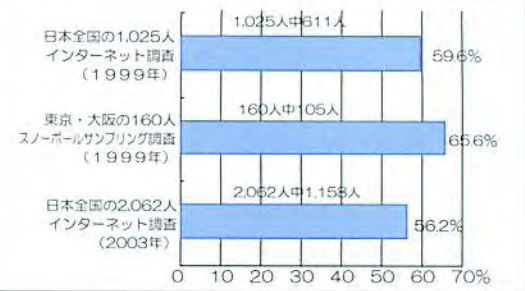
セクシュアルマイノリティの人達が周囲の目を気にせず、同じ仲間たちが集まることができる施設。学校帰り、仕事帰り、買い物帰りに気軽に立ち寄って、おしゃべりしたり、インターネットしたり、本を読んだり、お茶を飲んだりしてリラックスできる場所として、友だちとの待ち合わせ場所として誰でも無料で気軽に使えるスペースです。

いわゆる「公民館」のようなところで、お茶会や手話教室などのイベントやサークルのミーティングなどにも利用できる多目的スペースです。

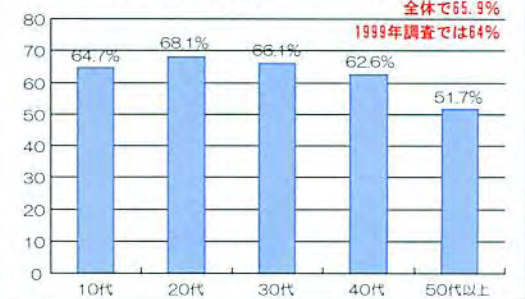
セクシュアルマイノリティに理解のある方なら、セクシュアリティや年齢に関係なくご利用頂けます。



「ホモ・おかま・おとこおんな」などの言葉によるいじめ被害割合



これまでに自殺を考えたことがある割合



自殺未遂をした経験



出典：厚生労働省エイズ対策研究推進事業「ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート2」 京都大学大学院医学研究科/日高庸晴 <http://www.gay-report.jp> Hidaka Y, Operario D. (2006)

Attempted suicide, psychological health and exposure to harassment among Japanese homosexual, bisexual or other men questioning their sexual orientation recruited via the Internet. Journal of Epidemiology and Community Health, 60, 962-967

SHIPで何ができるの？

SHIPにはいろいろな機能があり使い方は自由。それぞれの目的に応じてゆっくりとお過ごしください。

図書コーナー

セクシュアルマイノリティに関する書籍が100冊以上取り揃えてあります。



インフォメーションコーナー

全国のコミュニティ関連のイベント情報から、HIVなど性感染症に関わるものまで様々な情報が揃っています。

カウンセリング・相談

SHIPでは専門のカウンセラーによるカウンセリングや、病気やセックスに関する相談にも応じています。（予約制）



性感染症検査

HIV・梅毒・B型肝炎の性感染症検査を無料で受けることができます。（予約制）



SHIP

開館時間 水・金・土曜 16:00～21:00
日曜・祝日 15:00～18:00

かながわレインボーセンター SHIP

電話 045-306-6769

横浜市神奈川区台町14-2 ビレア台町2階

<http://ship.y-cru.com>

SHIPは、横浜CRUISE ネットワークが神奈川県との協働事業として運営しています。かながわボランティア活動推進基金21協働事業員担当事業